

【Earnalda the Healer】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。アーナルダの相。

■ 称号、職能

人々のみならず、社会そのものの健やかさをも維持させる“癒し手”としてのアーナルダを現した相。

■ 概略

まだオーランスと結婚をしていなかった頃、若きアーナルダは癒し手としてあらゆるものが健康であるようその力を発揮していた。

基本的に初潮を迎えた女性から、母親になるまでの若い女性を信者として集めており、また癒し手もこれを信仰する。彼女らは通常“癒し手”アーナルダを、薬となるような花や薬草、もしくは薬そのものを手にした姿で描く。

組織

■ 大聖日

: の日 (の季、 の週、 の日):

■ 下位カルト

・“大地の癒し手” ヴォテネヴラ

- ・“動物の癒し手” ヴォレーラ
- ・“支える者” エンフェラルダ
- ・“平和の作り手” オーヴェンティリ
- ・“薬師” ジェラ
- ・“戦医” ベヴァーラ
- ・“混沌の浄化者” ベルヴェレン
- ・ミンリスター

■好まれる神友

■信徒の呼び名

侍祭

司祭

業績

参考文献

- ・『Thunder Rebels』 p.-